

QP マヨテラスと深大寺 (7 & 10 班+α) 2019-3-12(火)

by 杉山

昨日の雨が上がり、晴れの天気だった。朝方はちょっぴり冷えていたが日中は春らしい気温に上がった。今日の集合場所は西武新宿線と西武池袋線が交わる所沢駅に、7 名が集まる予定だった。一人が最寄り駅までのバスが遅れて、予定時刻に遅れそうとの連絡があった。目的地までは 3 回乗り継ぎがある。2 組に分かれて次の東村山駅で待ち合わせしようと思ったときに、池袋線に続いて新宿線の電車がホームに入ってきた。遅れそうと連絡があった人が現れ、すぐに新宿線に飛び乗ることができた。隣の東村山駅で乗り換えである。移動中おしゃべりをしていた二人が急に静かになった。5 人は乗り換えの電車に乗ったが、2 人が来なかった。乗り換え時間は 4 分。2 人は今来た所沢方面へ行くホームへ降りてしまった。異変に気付いた 2 人は、国分寺行きホームへ走って、発車ベルが鳴っている間に乗ることができた。

三鷹駅から深大寺入口までバスで行き、深大寺通りを歩いていたら水車館が見えた。水路があり水車が勢いよく回転していた。管理人から水車の構造や今でも使用できることをきいた。そばを引く臼を回転させることができるが、お茶を抹茶にするような目の細かい臼は持っていないとのことでした。山門をくぐって鐘楼、本堂、国宝の置かれた釈迦堂へ。300 円払い国宝を見た。もっと厳重に管理されていると思ったが、小さな建物で簡単に持ち運べそうだった。



水車館

次は神代植物園へ行った。うめ園では白、ピンク、赤色の花がいっぱい咲いていて見事だった。1 月から 3 月まで梅の花を楽しめるとあったが、今が一番見ごろと思われた。バラ園を通って大温室へ向かう途中で、バラを手入れしている人にあった。新芽がたくさん出てきたので芽かきをしているとのことでした。きれいな花を咲かせるために、日ごろからいろいろな管理をしているようだ。大温室の中は熱帯の植物が多かった。春や夏に咲く花が満開だった。植物園のそばに住んでいたら、年間パスを購入して何度も訪れたい所でした。



神代植物園のうめ園



神代植物園の大温室

昼食は深大寺そばである。11:40 ころに深大寺通りの外れにある多聞へ入った。12 時前にもかかわらず、大勢の人が召し上がっていて、席が分かれることになった。ネットの評価ではそばの盛りが多いとのことで選んだ。周りを見渡すと、ざるに高く盛られたそばが運ばれており、期待は高まった。後でわかったことですが、他の客は深大寺そばの中盛や大盛で、我々の注文は大盛りのない多聞そばだったから、期待はちょっと外れた。しかし、コシのあるそばをおいしく頂きました。

水生植物園を散策後、QP マヨテラスへ移動した。予定よりちょっと早く到着したので、QP のショップエリアで待つことになった。マヨネーズ以外にもたくさんの製品を販売していることが分かった。広い敷地に新しく斬新なビルで、1 階をマヨテラスでその上は研究開発や品質管理などに利用しているとのこと。説明ではまず QP の歴史からで、今年でちょうど100年を迎える。今では世界中に販売している。次はマヨネーズの原料や効果、保存などの説明だった。キャップの色によってカロリーや塩分を変え、たくさんのキャップカラーが並んでいた。その次は製造である。1 台の機械が1秒間に卵を割る速度は10個であり、1日に製造するマヨネーズは450g 容器を縦に並べると、富士山の何倍にもなることなど。最後はQP キッチンへ行ってサラダをおいしく食べることだった。マヨネーズ、ケチャップ、醤油、塩などたくさんの調味料が用意されていたので、自分好みのドレッシングを作ってサラダと頂いた。

今日のスタートはハラハラ、ドキドキだったが、きれいな花や植物や国宝など見たり、ご当地グルメの昼食を食べたり、QP マヨネーズを深く知ることができて有意義な1日でした。